

情報元：南海日日新聞社  
日付：令和3年1月28日

## 政治や選挙学が

### 沖永良部高で出前授業

和泊 知名選挙

【沖永良部総局】和泊、知名両町の選挙管理委員会、は県立沖永良部高校（室屋洋一校長）で26日、1年生92人を対象に「政治的教養を育む教育」と題した出前授業を開いた。生徒たちは

公職選挙法に基づき正しい選挙への関わり方や、模擬投票による投票の流れなどを学んだ。  
出前授業は、近い将来有権者となる生徒に、政治や選挙への関心を高めてもらおうと毎年開いている。

和泊町選挙事務局長の職員が選挙制度などについて説明。10代の投票率は、2019年の参院選挙で県平均が33・84%に対し、知名町13・58%、和泊町21・43%と低い結果になったと報告し、「それぞれの思いを国や県、町の政策に反映させるため、投票しよう」と呼び掛けた。

模擬投票では「えらぶ町長選」と題して候補者役の生徒2人が立候補演説。生徒たちは投票用紙に意中の候補者名を記載し、投票箱に投じた。

候補者役で立候補演説も行った西村美聖さん（16）は「政治家がもっと分かりやすい言葉で政策を伝えたい。若者の投票率は上がる

模擬投票で、投票箱に票を投じる生徒。26日、沖永良部高校



と思う。18歳で投票権を得たら、友達にも選挙に行ってもらいたい」と話した。